

# 宮島小学校第4学年 総合的な学習の時間

## 「宮島杓子のすばらしさを伝え隊」

### 1 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、探究課題「地域の伝統や文化とその継承のために取り組んでいる人々や組織」を踏まえて構想した単元である。僧侶誓真は、江戸時代に宮島で井戸を掘り、杓子を考案し製造を広めたと伝えられており、宮島の人々からは「宮島の恩人」と称えられ、「誓真さん」と親しみを込めて呼ばれている。伝統工芸として有名な杓子は、宮島土産として現在もその木工技術を生かして製作されている。杓子という伝統工芸のよさや課題を探り、継承する人々と関わって活動し、その人たちの思いを知ることで、地域のために自分たちに何ができるかを考え、行動しようとすることをねらったものである。

また、昨年度学習した「もっと知りたい宮島～昔の暮らし・今の暮らし～」とともに、地域の発展について考え、行動することが、SDGsの「11 住み続けられるまちづくりを」の目標達成につながることを意識させるものである。

宮島学習		生涯学習
今ある姿を「守り・継承すべき」学びと体験 心豊かな暮らしを育む創造		生き方・あり方の 探究と創造
1	いさものとなかよし なつがやってきた たのしいあそびいっぱい (7年と7年下の子どもを結ぶ) ふゆをたのしもう	キャリア発達
2	宮島まちたんけん 冬さものなまよし大さくせん でんぐんそだて わたしのやさしい	あしたへジャンプ
3	宮島の行事を伝えよう やさしい海 宮島を見つめよう 宮島の守と誇りをつなぐ課題をたずねよう	
4	宮島杓子のすばらしさを伝え隊 宮島に学ぶ(一歩)	マイタイムラインをつくらう (17年と17年下の子どもを結ぶ)
5	宮島伝統工芸展らん会を調べよう (2年と2年下の子どもを結ぶ)	宮島の美を守るために行動しよう 環境シンポジウムを調べよう
6	伝統をつなごう 宮島の歴史を勉強しよう 宮島の歴史を全国に届けよう	二分の一減入力で アップデートしよう
7	伝統をつなごう 宮島の歴史を勉強しよう 宮島の歴史を全国に届けよう	自然の中で仲間と協力しよう パワーアップ準備しよう
8	伝統をつなごう 宮島の歴史を勉強しよう 宮島の歴史を全国に届けよう	未来の自分に手紙を書こう
9	伝統をつなごう 宮島★未来プロジェクト (個人探究)	自然の中でリーダーとして 仲間と協力しよう 働くことを自分事にしよう
		自分の個性と職業を 関連付けよう 働くことで生き方を探ろう
		自己のありたい姿を 自分なりに実してみよう

#### (2) 児童観

昨年度末(2月)実施のアンケート調査で、ふるさと学習やつきたい資質・能力に関わる質問項目についての児童の回答結果は、次の通りである。

表中の数字は(人) ※転出児童1を含む。

質問項目	とても そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	全然 そう 思わない	3年生の総合的な学習の時間の 振り返りなどからの考察
総合的な学習の時間などで学んだことで、宮島の「文化」や「産業」「自然」などを守り大切にしたいという気持ちが大きくなっています。 【おもてなし力・見つめる力】	16	2	0	0	体験活動など、地域の方に教わりながら学ぶよさを感じ、宮島の文化・産業を大切にしたい気持ちが大い。また、学んだことをポスターや新聞で掲示する活動を通して、伝えることのよさを実感している。
宮島のこと(歴史・町・伝統・自然など)を他の人たちに紹介したいと思います。 【おもてなし力・見つめる力】	14	3	1	0	
授業では、筋道を立てて伝えることができます。 【伝える力】	3	9	5	1	筋道を立てて伝えることに苦手意識をもっている児童が多い。相手意識をもって伝えたいことを順序立てて分かりやすく伝えることに課題がある児童もいる。
授業の振り返りで自分で新しい課題(やりたいこと)をみつけています。 【見つめる力】	5	9	3	1	振り返ることで、思考の整理ができ、学びを深めたり、新しい課題をみつけたりすることに役立っている。一方で、振り返りの質が低いことが課題である。

児童は、これまでの学習や体験活動を通して、地域の特色について理解している。しかし、ものやこと等の表面的な理解に留まっており、地域の人々の思いや願いまでを理解し、今後の地域のことにつなげている児童は少ない。

### (3) 指導観

社会科で学習した「誓真」の功績の1つである杓子づくり（伝統工芸）について、多くの人に知ってもらうために調べたいという児童の思いから単元の課題を設定していく。児童は、昨年度の歴史民俗資料館の見学で「しゃもじのことを『宮島』と呼ぶくらい有名。」という説明とともに展示を見学し、杓子のすばらしさを知っている。しかし、現在の杓子づくりの現状や伝統工芸品としての特徴・課題等は知らない。そこで、地域の人々の思いや願いに気付くことができるようにするために、杓子づくりに携わる人・杓子づくりが盛んだったところを知る人など、地域の人から話を聞く活動を大切に、杓子について、さらに関心をもたせていく。その中で、課題解決に向けて主体的に学習を進めることができるよう、児童の思いを大切に、思考の流れに沿った学習活動を展開する。

情報収集をするに当たっては、活動の目的やゴールを意識させて、目的に応じた手段を選択し、課題解決のために観点に沿って必要な情報を集めさせるようにする。

まとめ・表現の場面では、筋道を立てて伝えることができるようにするために、国語科「みんなで新聞を作ろう」の学習との関連を図る。そこでは、自分の考えや思いとその根拠を分けて話しているかを相互評価したり、相手の反応を確かめたりするなど、伝わったことが実感できるような協働的な学びの場を意識的に設定する。

ゴールとなる報告会を対面報告で実施し、地域の人達からの反応を確かめたり評価を直接もらったりすることで新たな課題設定へと繋げられるようにし、自分たちの活動を振り返るとともに、今後の地域の発展についても考え続けることを促す。

また、単元全体を通して、振り返りが次の課題設定に役立つ手段となるようにするために、自分の考えの変容や学習の足跡が一目で確認できるような振り返りシートを工夫する。振り返りの視点を明確にして記述させることで、振り返りの質を向上させ、次の課題設定へと繋げる工夫とする。

本単元は、担任（T1）と補助（T2）の複数指導で行う。T1が全体指導を行い、T2は補助で児童への支援や資料提示を行う。また、グループ別活動では、分担してグループにあたる。

## 2 単元の目標

宮島の伝統工芸品である杓子づくりを取材し、宮島のよさや課題を整理する活動を通して、宮島で受け継がれてきた杓子のよさに気付き、地域の発展を願ってその思いや地域のよさを伝えるために自分たちにできることを考え、進んで地域社会に関わって行動しようとする。

## 3 単元の評価規準とルーブリック

### (1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 杓子づくりに携わる人たちの思いに気付くとともに、それらは誓真の功績であり地域の人によって受け継がれてきたことを理解している。 <small>【おもてなし力】</small> ② 見学やインタビューによる調査を相手や場面に応じて実施している。 ③ 杓子づくりに関する理解や大切にしたいという思いの高まりは、探究的に学習してきた成果であると気付いている。	① 誓真の功績や杓子づくりのよさを伝えるために、調べる方法や手順を話し合っている。 ② 誓真の功績や杓子づくりについて、必要な情報を収集している。 ③ 杓子づくりについて集めた情報を観点に沿って分類し、よさ・課題・人々の思いを適切に表す方法について考えている。 <small>【伝える力（整理・分析）】</small> ④ 調査活動を通して知った杓子づくりのよさや自分の思いをまとめて、表現している。 <small>【伝える力（表現）】</small>	① 誓真の功績や杓子づくりのよさを伝えるために、調べることを見つけ、見通しをもち活動しようとしている。 <small>【見つめる力（主体性）】</small> ② 友達の考え、地域の方の考えを活かしながら協働して探究活動に取り組もうとしている。 <small>【見つめる力（協働性）】</small> ③ 地域のよさを発信することを通して、今後も地域に愛着をもって行動し生活しようとしている。 <small>【見つめる力（将来展望）】</small>

## (2) ルーブリック

	B	A
おもてなし力	杓子づくりの歴史や継承してきた人々の思いを理解している。 【知識・技能①】	杓子づくりの歴史や継承してきた人々の思いを理解し、これからも残していきたいものを持っている。
伝える力	集めた情報から、杓子づくりのよさを伝えるために情報を選んでいる。 【思考・判断・表現③】	次の活動を意識して、集めた情報から、杓子づくりのよさを伝えるために必要な情報を精査して選んでいる。
	杓子づくりのよさが相手に伝わるように、工夫して表現している。 【思考・判断・表現④】	杓子づくりのよさと自分の思いが相手に伝わるように、工夫して表現している。
見つめる力	疑問などから設定した課題の解決に、粘り強く取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度①】	見通しをもって、疑問などから設定した課題の解決に、粘り強く取り組もうとしている。
	友達や地域の人々の意見を取り入れながら活動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度②】	友達や地域の人々の意見を取り入れながら、相手意識をもって活動しようとしている。
	伝統工芸の杓子を残していくために、自分にできることを考え地域に働きかけようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度③】	伝統工芸の杓子を残していくために、自分にできることを考え地域に働きかけるとともに、これからの自分の生活に生かそうとしている。

### 【SDGs との関連 11 番】



#### 4 単元の計画（全27時間）

次	学習活動	予想される児童の反応	評価規準			指導上の留意点 他教科等との関連
			知	思	態	
1 宮島の恩人誓真さんを探ろう  2 杓子について知り、広めるために伝えよう  3 調べたことを発信しよう	<b>課題の設定（2）</b> ○誓真のことでもっと知りたいことを出し合い、取材の計画を立てる。  <b>情報の収集（4）</b> ○誓真のことが分かる場所を訪れ、取材する。 （光明院・誓真大徳碑・誓真釣井）  ○わかったこと・考えたことを共有する。  <b>課題の設定（3）</b> ○宮島の杓子について、知っていることや調べたいことを出し合い、課題を設定する。（7/27）  ○杓子を調べる計画を立てる。 ・工程や杓子販売店を見学 ・杓子づくりが盛んだった頃の話を書く ・杓子づくりの職人さんに聞く ・世界一の杓子 ・杓子の種類・土産物  <b>情報の収集（6）</b> ○杓子についての調査・取材をする。  <b>整理・分析（2）</b> ○分類した情報の内容を整理する。  ○収集した情報の何をどのような方法で伝えるのかを考える。  <b>まとめ・表現・創造（7）</b> ○報告する内容を分担し、まとめる。 ○プレゼンテーションで、互いの新聞を読み、発表を練り合う。（21/27） ○報告会の準備をする。 ○新聞完成報告会を開く。 必要に応じ再取材や新聞修正を行う。  <b>振り返り（3）</b> ○報告会でもらった感想・意見をもとに、自分たちの活動を振り返る。 ○杓子の焼き印体験をする。 ○学習を通して感じたこれからも残していきたいもの、学習で出会った人から学んだことなどを振り返る。	誓真さんの石碑が見たいな。  井戸は、誓真釣井と呼ばれて残されているんだ。  しゃもじと杓子は違うのかな。1年生に教えてあげよう。  杓子づくりは200年以上前に始まっている。  杓子づくりを調べて伝えたいな。 自分たちも杓子のことは知らないことが多いな。  今も杓子を作るのはどうしてだろう。 宮島の特産として知ってほしいんだと思う。 多くの人に杓子を買ってほしいからだと思う。 買う人に喜んでもらえるように種類を増やしていたよ。 歴史民俗資料館で見た大松明は、杓子を作る会社のものだったんだ。 伝えることを選んでまとめよう。 調べたことだけでなく、作る人の気持ちを伝えなきゃ。 もう1回取材してこよう。 杓子を残していくために考えたことを発表しよう。 取材した地域の人に聞いてもらおう。 地域にも掲示してもらおう。 杓子のよさを伝えることができた。 もっと杓子を使ってほしいな。 杓子の長い伝統をつないでいこうとしている宮島の人の思いを伝えられたかな。	知 ① ① ① ② ② ① ③ ① ④ ③ ③	態 ① ② ① ② ③ ② ④ ③ ③	<b>社会科「郷土の発展に尽くした人々」</b>  <b>社会科「水はどこから」</b> ・井戸の保存や誓真地蔵を大切にしている人々に気付かせたい。  <b>学校行事 杓子踊り・宮島踊り</b> ・誓真の功績を年表に記し、教えから200年以上経っていることを印象づける。  ・近くの小学校児童を対象にした「宮島で有名なもの」アンケート結果から、杓子の認知度を知らせる。 ・これまでの学習や身近で見た杓子、用途を思い出させる。 ・調べに行くことで新たな疑問をもたせたり、人々の思いに気付かせたりする。  ・杓子づくりの工程を見学したり杓子づくりに携わる人の話を聞いたりするなど、地域に出かける活動を通して調査させる。  <b>国語「たしかめながら話を聞こう」</b> ・これまで学習した写真撮影、インタビューの仕方を活用させる。  ・意見交流や協働場面では、思考ツールを効果的に用いる。  <b>国語「みんなで新聞をつくろう」</b>  <b>国語・引用の仕方や出典の示し方</b> ・新聞作成では、杓子のよさを伝えるために、内容、表現方法、情報量を検討させる。  ・対面で報告することで、感想や意見をもらい、外部評価とする。  ・聞き手からの意見を新たな課題設定につなげる。  ・資質・能力の高まりについても振り返らせ、学習を通して自分にどんな力がついたかを実感させる。  <b>国語「お願いやお礼の手紙を書こう」</b>	

5 本時について（7時間目／全27時間）

(1) 本時の目標

杓子について知っていること・知りたいことを整理し、杓子づくりについての学習課題を設定することができる。

(2) 準備物

映像資料（TV番組「あなたの駅前物語～広電宮島口駅～」）デジタル機器（タブレット）

(3) 本時の学習過程

時間	学習活動	教師の働きかけ ○支援 ・評価 ( ) 評価方法															
10分	<p>1 前時の学習を振り返り、杓子について知っていることを整理し、本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ 杓子のすばらしさを伝えるために、杓子の知っていること・知りたいことを整理し、調べることを見つけよう。</p> </div>	<p>○目的は、杓子についてもっと知り、「杓子のすばらしさを伝えるため」と、おさえる。</p>															
30分	<p>2 杓子について、知りたいこと・調べる方法をシートに書く。(個人→グループ)</p> <p>T グループで話しながらジャムボードのシートに書いていこう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">杓子のすばらしさを伝えるには・・・</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">知りたい・調べたいこと</th> <th style="width: 33%;">どうやって調べる？ どこに行って・誰に・どうやって</th> <th style="width: 33%;">何を伝えたい？ どう思っている？</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作り方</td> <td>工房の人</td> <td>手作りはすごい</td> </tr> <tr> <td>どんな杓子があるのか</td> <td>杓子を売る店</td> <td>飾り杓子など種類がいっぱいある</td> </tr> <tr> <td>大杓子のこと 大きさ いつ作ったのか</td> <td>etto 交流会館</td> <td>有名なで見てほしい</td> </tr> <tr> <td>木とプラスチックの違い</td> <td>木の杓子を使う人・作る人</td> <td>木の杓子のよいところ</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>3 全体で交流する。 T 自分のグループで出た意見と比べながら聞こう。</p> <p>4 宮島の杓子を紹介した映像を視聴する。 T 宮島杓子の始まりが誓真さんであることを紹介していたよ。知っていること・知りたいことになかった情報があるかも・・・ T 3人の人は、どうしてがんばれるのだろう？ 「全盛期は120人も職人」「3人が島の伝統品を守っている」「先人の努力の結晶をつなげたい」</p>	知りたい・調べたいこと	どうやって調べる？ どこに行って・誰に・どうやって	何を伝えたい？ どう思っている？	作り方	工房の人	手作りはすごい	どんな杓子があるのか	杓子を売る店	飾り杓子など種類がいっぱいある	大杓子のこと 大きさ いつ作ったのか	etto 交流会館	有名なで見てほしい	木とプラスチックの違い	木の杓子を使う人・作る人	木の杓子のよいところ	<p>○前時に書いたイメージマップを用いて、調べたいことを書き込ませる。</p> <p>○例を用いて、グループで話し合う手順を説明する。</p> <p>・杓子のよさを伝えるために、調べたいことを書いている。 (発言・シート)</p> <p>○グループの話し合いを見守り、児童の意見を聞いたり、問いかけたりする。</p> <p>○グループで記入したシートと見比べながら交流させる。</p> <p>○杓子づくりの現状を知る手がかりとさせ、紹介された地域の人・場所に着目させる。</p> <p>○今後の取材を通して、杓子づくりに携わる人の思いも、杓子のすばらしさと気付かせたい。</p>
知りたい・調べたいこと	どうやって調べる？ どこに行って・誰に・どうやって	何を伝えたい？ どう思っている？															
作り方	工房の人	手作りはすごい															
どんな杓子があるのか	杓子を売る店	飾り杓子など種類がいっぱいある															
大杓子のこと 大きさ いつ作ったのか	etto 交流会館	有名なで見てほしい															
木とプラスチックの違い	木の杓子を使う人・作る人	木の杓子のよいところ															
5分	<p>5 本時のまとめと次時の見通しをもつ。 ・どこに行き何を調べるのか、計画を立てよう。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。 T 杓子のよさを伝えるために、調べたいことを見つめましたか。友達の意見でいいなと思ったこと・次にやりたいことを書きましょう。</p>	<p>○友達との意見交流で気付いたこと、考えたことについて振り返らせる。</p> <p>・杓子のことを伝えるために、調べたいこと、次にしたいことを書いている。 (発言・振り返りシート)</p>															

本時の評価規準 ルーブリック

	B	A
見つめる力	杓子づくりのよさを伝えるために調べたいこと・方法を見つけている。	杓子づくりのよさを伝えるために調べたいこと・方法を見つけるとともに、伝えたい思いをもっている。

## 5 本時について（21時間目／全27時間）

### （1）本時の目標

杓子のよさを伝えるために、互いの新聞を読み意見を出し合い、伝えたいことが伝わるかを確認し、表現を工夫することができる。

### （2）準備物

グループが作成中の新聞（下書き）

### （3）本時の学習過程

時間	学習活動	教師の働きかけ ○支援 ・評価 ( ) 評価方法
7分	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ グループの新聞を読んで意見を出し合い、内容を確認めたり表現を工夫したりしよう。</p> </div> <p>T 他グループの新聞を読んで、まず、意見を言うことが今日のめあて。</p>	<p>○自分達の思う杓子のすばらしさを伝えるため、まとめてきたことを確認する。</p> <p>○新聞をよりよいものにすることが目的であることをおさえ、児童とともに自己評価の基準を共有していく。</p>
30分	<p>2 グループの報告を聞いて、アドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杓子の始まり（誓真さん）</li> <li>・杓子の歴史、使われ方（民俗資料館）</li> <li>・杓子の種類、販売に携わる人（杓子の家）</li> <li>・世界一の大杓子（etto）</li> <li>・杓子作り方（工芸製作所）</li> </ul> <p>T 杓子のすばらしさが伝わる内容になっているか、確かめよう。 例えば、足りない情報があれば「～を書くといいよ。」伝わる内容になっていれば「～と書いてあるから、読んだ人が～だと思う。」のように意見を言おう。</p> <p>〔視点〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; font-size: small;">～のことを書く といい。(情報)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; font-size: small;">・・・と書いた方 が伝わる。(表現)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; font-size: small;">読む人が～と 思うから good</div> </div> <p>3 グループで話し合う。</p> <p>T 伝えたかったことが伝わったかな。 T もらった意見をもとに、新聞を改善しよう。</p>	<p>○ポスターセッション形式で実施する。前半と後半の報告・聞き手のグループを指示する。</p> <p>○参観の教員も聞き手になってもらう。</p> <p>○聞き手の児童には「知っていること・付け加えてほしいことは？」と問う。</p> <p>○前・後半終了時に、よかった点（意見や感想を伝える姿）を評価する。</p> <p>・伝えたかったことが伝わったかどうかを確認めたり、アドバイスをもとに改善したりしている。 (発言・ワークシート)</p> <p>○表現内容を修正した部分を確認めながら見守り、助言する。</p>
8分	<p>4 本時のまとめと次時の見通しをもつ。</p> <p>T 「もらった意見をもとに、こう変えたよ。」ということを教えて。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>T めあてについて、どこまでできたかな。どんなことができたか振り返ろう。</p>	<p>○表現を検討するグループ協議のよかった点を取り上げる。</p> <p>・杓子のよさが伝わるように、表現を確認めたこと、その意図などを書いている。 (振り返りシート)</p>

### 本時の評価規準 ルーブリック

	B	A
伝える力	杓子のよさを伝えるために、内容や表現について意見を出したり、もらった意見をもとに新聞の表現を確認めたりしている。	杓子のよさを伝えるために、内容や表現について意見を出したり、もらった意見について自分の考えを話しながら新聞の表現を確認めたりしている。


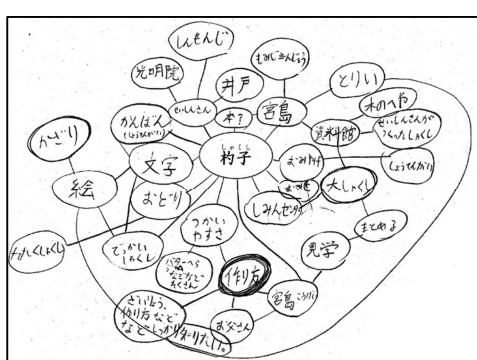

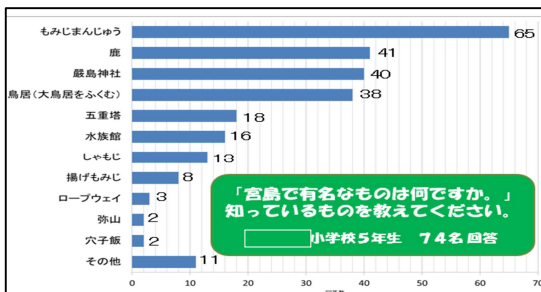

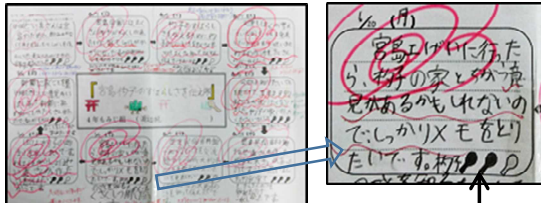


# 実践記録

※文中の「杓子（しゃくし）」の表記は、漢字のみにしています。

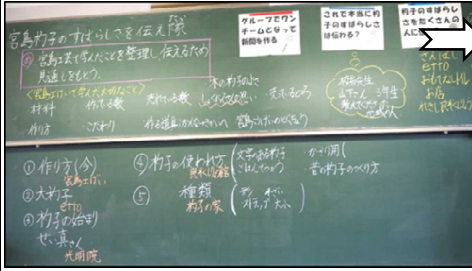
## （単元の目標）

宮島の伝統工芸品である杓子づくりを取材し、そのよさや課題を整理する活動を通して、宮島で受け継がれてきた杓子のよさに気づき、地域の発展を願ってその思いや地域のよさを伝えるために自分たちができることを考え、進んで地域社会に関わって行動しようとする。

時期	学習活動	指導の工夫・児童の思い、振り返りの記述など
五月末 <b>課題の設定</b>  <b>情報の収集</b>	<p>○社会科「郷土の発展につくした人々」学習後、僧誓真のこともっと知りたいことを出し合い、取材の計画を立てる。</p> <p>○誓真のことが分かる場所を訪れ、取材する。</p>  <p>○碑の文・碑建立の経緯から、宮島の人々が誓真を「島の恩人」として慕っていることを知る。</p>	<p>・3学年「昔の暮らし 今の暮らし」で、歴史民俗資料館見学時の感想を掲示し、そこで知った杓子について思い出させた。</p> <p>・資料館で誓真さんの作った杓子や大杓子を見た。</p> <p>・杓子を「宮島」と呼ぶくらい、有名だと教えてくれたね。</p> <p>・校内に展示してある杓子の写真を児童が撮り、分類することで杓子の用途や種類に気付かせた。</p> <p>・学校の中だけでも、いろいろな種類の杓子がある。絵や言葉、大会用の文字がかいてあった。</p> <p>・町でも店の看板や案内の表示に使っているよ。</p> <p>・給食で使うのも木杓子だ。廿日市市ほどの学校も木杓子を使っているらしいよ。</p>
六月 <b>課題の設定</b>	<p>○宮島の杓子について、知っていることや調べたいことを出し合い、課題を設定する。</p> <p>一人一人が、杓子について知っていることをイメージマップに記し、調べたいことを決めた。</p>  <p>○班で、調べる内容や計画について意見交流をする。（Google Jamboard）</p> 	<p>・宮島の対岸にある小学校児童に「宮島で有名なものは何ですか。」と聞いたアンケート結果を示す。</p>  <p>・児童は自分たちの認識（杓子は有名で宮島を代表する特産物であるという思い）とのずれを感じ、「もっと杓子のことを知ってほしい。」という気持ちを大きくした。</p> <p>・3位以内には絶対入っていると思ったのに・・・</p> <p>・杓子は宮島が始まりと知らないのかな。</p> <p>・宮島の人は誓真さんをよく知っているけど、島外の人には知らないんだね。誓真さんと杓子のことを教えたい。</p> <p>・もっと杓子のことを伝えていこう。</p> <p>・100人以上いた職人が3人になったなんて、びっくり。</p> <p>・受け継いでいく気持ちで、店の人は販売していた。</p> <p>・ご飯をつくだけでなく、お土産の杓子もいろいろあるね。</p>
<b>情報の収集</b>	<p>○取材に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・etto 宮島交流館・歴史民俗資料館（児童の希望を聞き、分かれて取材した）</li> <li>・杓子専門店「杓子の家」</li> <li>・杓子の製作所「宮島工芸製作所」</li> </ul> 	<p>・振り返りには、1枚ポートフォリオを用いた。自分の学習の記録として残すようにした。</p>  <p>めあてに対するループリックを児童と確認しておき、授業後に、ループリックに照らして色をぬる杓子の数を決める。</p>

整理・分析

○取材で分かったことを出し合い、情報を整理する。  
○どのような方法で伝えるのかを話し合う。



①グループでワンチームとなって新聞を作る。  
②これで本当に杓子のすばらしさが伝わるか？  
③杓子のすばらしさをたくさんの人に伝える。(掲示)

・宮島の人や観光客に知ってもらうために、新聞を作成し地域に掲示することにした。今後の予定を話し合い、新聞完成時に「これで本当に杓子のすばらしさが伝わるかどうか」取材先の方や地域の方、校長先生に、報告する場を設定することにした。  
(新聞掲示では発信のみになってしまうので、対面で質問に答えたり意見を交流したりする場を設ける。)

まとめ・表現

○新聞を作成する。

杓子の始まり誓真	世界一の杓子	種類・販売に携わる人	杓子の歴史使われ方	杓子の工程(現在)
誓真と宮島誓真大徳杓子づくりのはじまり	大杓子の大きさ、重さなど 大杓子が作られた理由 etto 館長さんの思い	杓子専門店の歴史 プラスチック杓子の開発 守る人の思い	昔の杓子の作り方 現在の杓子の使われ方(種類)	工程 木杓子のよさ 杓子の種類 作る人の思い

○プレ報告会を開き、新聞をよりよいものにする。  
ポスターセッション形式で報告する。(6/30校内研修)  
聞き手は、学級その他グループの児童と校内の教職員。  
(互いに見合う視点)

～のことは書く といい。(情報)	・・・書いた方が 伝わる。(表現)	読む人が～と 思うから good
---------------------	----------------------	---------------------

・プレ報告会では、5グループを前・後半に分けて報告させた。報告グループに対する聞き手の児童は、指導者が組み合わせを考えた。(児童の取材先のメモを見て、アドバイスできそうなグループを選んだ。)

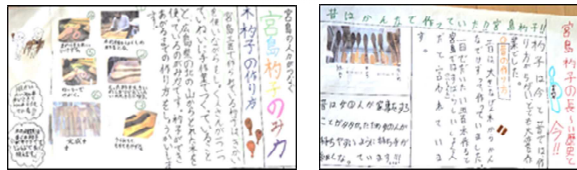
【実際のアドバイス例】

- ・木杓子の材料のところに、木の種類だけでなく、広島県産の木を使っていることは書くべき。
- ・大杓子は、3枚の板をつないで1つの杓子にしたことを書くと大きいことがよく分かる。
- ・写真の下には説明を書くといい。
- ・誓真さんが杓子を作るきっかけが先にあった方が読む人は理解しやすいと思うから記事の順を変えた方がいい。
- ・「日本で1つの杓子専門店」という題がいい。宮島杓子が有名なことがよく伝わる。
- ・昔の工程は、説明と写真が合うようにするとよく分かる。

七月  
まとめ・表現

○「杓子のすばらしさを伝え隊」報告会を開く。  
・めあて「自分たちが作った新聞で杓子のすばらしさが伝わるか、聞いてもらおう」に対して、児童と確認した本時のルーブリック

P 自分の伝えたいことを伝えることができた。  
 PP 地域・お家のみなさんと対話することができた。  
 PPP 対話を通して、自分の考えがたしかになった。



新聞の一部

・取材先の方、地域の方、保護者から学習を深めるような意見・質問・アドバイスを得た。

【実際の質問・アドバイス例】

- ・誓真さんは宮島の恩人と言われているけど、みんなも恩人だと思う？ どうして？
- ・大杓子の手ざわりや感じたことなど、自分達の思ったことをもっと伝えてほしい。
- ・どうやったら、杓子をこれから先も守っていけると思う？
- ・「杓子」という言い方は、全国で通用する言い方。この新聞に書いてある記事だと、宮島だけで大切にされているように感じるから、そこを直してほしいです。

・私は、木杓子のよさを3つ新聞に書いたけど、「木杓子のよさはまだあるよ。」と教えてもらいました。よさをもっと考えて伝えたいです。  
・むずかしい質問は、これからじっくり考えてまた地域の人に教えたいです。地域の方は宮島や杓子のことをとても大切にしているんだなあと思いました。  
・作り方(工程)も1つ抜けていたので、まだ(新聞を)直すところはあると感じました。宮島の方は、杓子を守り続けたいという思いが強いことも分かりました。私たちも杓子を守り続けるために、これからもっと杓子のことについて調べて、世界の人に教えてあげたいです。

八月(登校日)  
情報の収集  
まとめ・表現  
九月  
振り返り

○報告会で得たアドバイスをもとに新聞を改善する。

- ・グループで製作所へ再取材した。
- 杓子の焼き印体験をする。  
・伝統産業会館で職人さんから杓子の話を聞き、杓子の焼き印体験をする。



- ・これまでの学習を振り返る。
- ・1枚ポートフォリオを読み返す。
- ・自分の成長(身に付いた力など)についても振り返る。

・児童の「杓子を作りたい。」という思いから、単元計画にはなかったが、焼き印体験を実施した。

- ・杓子の学習をすることで友達や地域の人と会話する力が付きました。杓子の学習をして、使いやすくて形がきれいな宮島杓子をもっと大好きになりました。
- ・私は、杓子のことを学習するまでは、あまり杓子にきょうみがありませんでしたが、今はもっと知りたい、もっと調べたいと思います。校外学習をしたり、地域の人とお話をしたりすることができました。その後も暑中見舞いなどを送ったりして、地域の人とつながれてうれしかったです。



## 単元構想シート

小学校第4学年

教科等 総合的な学習の時間

単元(題材)名 宮島杓子のすばらしさを伝え隊

### ① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

10年後の宮島はどうあるべきか。

### ② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)

宮島杓子の伝統を守るためにできることは何だろう。

### ③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)

- ・杓子はどのようにして作られるのだろう。昔と今で違うのか。
- ・杓子はどんなことに使われているのか。
- ・杓子のよさや課題は何だろう。
- ・杓子はなぜ地域の人から大切にされているのだろう。

### 単元計画の 構想を立てる

- 1 誓真さんの功績を地域に出かけて調べる。(光明院の住職さん・誓真大徳碑・誓真釣井)
- 2 杓子のよさを伝えるために調べる計画を立てる。
- 3 杓子について地域に出かけて取材する。(工芸製作所・商店の人・歴史民俗資料館・[ette](#)地域交流館)
- 4 調べたことから杓子のよさや課題・地域の人の思いをまとめ、目的や対象を決めて伝える計画を立てる。
- 5 「宮島杓子のよさ」報告会を開き、意見や感想をもらう。
- 6 地域に作成した新聞を掲示し、多くの人に見てもらう。
- 7 学習を振り返る。